

地球環境問題として、脱炭素や生物多様性ととも、SDGsのゴール6である「水」についても、企業活動との関係に対する市民や投資家の関心がかつてないほど高まっています。これらの問題について企業はどう取り組めばよいのでしょうか。どのように様々なステークホルダーと対話すればよいのでしょうか。

「グッドプラクティス塾」は、ウォータープロジェクト参画企業が、新しい知見やそれぞれの取り組みの共有などを通じ、各社が『水で選ばれる』ことを目指す場です。

2021年度の第1回目は立命館アジア太平洋大学の平野実晴氏をお招きし、**SDGsのゴール6「水」を切り口に、企業活動に関連づける使い方を**うかがいます。また、一般社団法人CDP Worldwide-Japanアソシエイトディレクターの榎堀都氏からは、CDP水セキュリティ質問書とSDGsの関連性や活用の仕方などについて話題提供いただきます。その後質疑応答・意見交換を行い、今後の取り組み方について掘り下げます。

## 【プログラム】

### 【挨拶・説明】

環境省

- ① 【講演】 水×SDGsメソッド  
平野 実晴氏 (25分)
- ② 【話題提供】 CDPのSDGsへの貢献  
榎堀 都氏 (25分)
- ③ 質疑応答・意見交換 (30分)

## 【今回の講師】

### ●立命館アジア太平洋大学 平野実晴さん

プロフィール：

国際法が専門、「水のグローバルガバナンス」に関する研究を行ってきた。京都大学で博士号を取得し、現在、立命館アジア太平洋大学で助教をされている。国際水協会(IWA)の活動にも積極的に参加し、IWA本部で特任研究員として世界の国と地域の規制に関する調査に従事、2018年のIWA世界会議ではプログラム委員を担当。JAPAN-YWP総務委員の際には「水×SDGs」をテーマに勉強会等を開催してきた。



日時

**11月10日（水） 13時～14時30分**

開催方法

オンライン開催（Zoom ウェビナー）

参加対象

ウォータープロジェクトに参画中、または参画を検討している企業、自治体、民間団体の方で、特に、以下のような方におすすめです

- SDGsに「水」が入っているが、どうやって企業活動に結び付ければよいか、担当者として悩んでおられる方
- 水への取り組みから新たなビジネスのヒントを得たい方

申込方法

氏名、所属、メールアドレス等を下記URLのフォームに記入し、お申込みください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_9T5mXuZHRuum7YSVfh13Lw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_9T5mXuZHRuum7YSVfh13Lw)

お問合せ

event@watercycle.jp

## グッドプラクティス塾について

「水に関して、何にどれくらい取り組むべきかを考え、その実態についていかに伝え、各ステークホルダーといかにコミュニケーションを深めるかを考え、もって『水で選ばれる』の実現を目指す」を目的に、民間企業等が「水」に関する互いのグッドプラクティスを共有し、それぞれの取組をブラッシュアップする場として、2019年4月に始動しました。今年度は右のとおり計4回の開催を予定しています。

## 第2回以降の予定とテーマ

第2回（令和3年12月）

「企業にとっての水リスク」

第3回（令和4年1月）

「水源涵養機能と企業による保全活動」

第4回（令和4年2月）

「水のサプライチェーンマネジメント」